

平成28年度第11回教育研究評議会議事録

日時 平成29年2月15日（水）14:30～16:55 TV会議
場所 事務局棟5階大会議室、S-P o r t 3階会議室
出席者 伊東幸、石井、東郷、前田、丹沢、伊東暁、澤渡、鈴木滋、寺村、菅野、谷、酒井、西原、塩尻、加藤、佐古、中山、河合、鳥山、平岡、原、恒川、三村、朴、澤田の各評議員
欠席者 木村、今野の各評議員
陪席者 鈴木庸、村松の各監事

I 前回議事録の承認について

平成28年度第10回教育研究評議会議事録（案）を原案どおり承認した。

なお、加藤委員から、審議事項1「理学部附属放射科学研究施設の名称変更に伴う関係規則の一部改正について」に関連して、理学部附属放射科学教育研究推進センターの英語表記を検討した際に、各センターによって統一されていないようなので、何かの機会に検討願いたいとの意見があった。

II 審議事項

1 浜松医科大学との共同教育課程による博士後期課程の設置に関する協定書の締結について

石井委員から、浜松医科大学との共同教育課程による博士後期課程の設置に関する協定書の締結について、資料1により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

2 静岡大学大学院光医工学研究科設置に伴う関係規則の整備について

石井委員から、静岡大学大学院光医工学研究科設置に伴う関係規則の整備について、資料2により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、議長及び同委員から、本規則は大学設置・学校法人審議会等からの指摘によって修正の可能性がある旨、説明があり、修正については議長へ一任することとした。

3 国立大学法人静岡大学学則の一部改正について

石井委員から、再入学関係、地域創造学環の履修及び履修取りやめを規定するための国立大学法人静岡大学学則の一部改正について、資料3により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

菅野委員から、教育学部生が地域創造学環の履修を志望する場合又は地域創造学環を履修している学生が教育学部へ異動することは可能であるのか質問があり、転学部することによって可能である旨、回答があった。

4 再入学に関する規定を整備することによる関係規則の一部改正について

石井委員から、再入学に関する規定を整備することによる関係規則の一部改正について、資料4により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

5 静岡大学地域創造学環規則の一部改正について

石井委員から、学部の学生で地域創造学環の履修を志望する者があるときについて規定するための静岡大学地域創造学環規則の一部改正について、資料5により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

6 静岡大学授業料等免除及び徴収猶予の取扱いに関する規則の一部改正について

丹沢委員から、懲戒を受けた者における授業料の免除決定の取扱いを規定するための静岡大学授業料等免除及び徴収猶予の取扱いに関する規則の一部改正について、資料6により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

7 静岡大学学生懲戒規程の一部改正について

丹沢委員から、懲戒が決定されるまでの間における措置として、自宅謹慎を設けるための静岡大学学生懲戒規程の一部改正について、資料7により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、加藤委員から、改正案の第13条第2項「自宅謹慎期間は、停学期間に算入することができる。」について、算入することが基本であり「できる規定」でよいのか確認があり、審議の結果、個別の事例を勘案した慎重な規定とするため、原案どおりとすることとした。

8 静岡大学教育研究プロジェクト推進室規則の廃止について

東学術情報部長から、静岡大学教育研究プロジェクト推進室規則の廃止について、資料8により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

9 静岡大学学長補佐室規則の一部改正について

前田委員から、学長の意思決定をサポートする体制を強化するため、室員に特任教員を追加するための静岡大学学長補佐室規則の一部改正について、資料9により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

10 教育に関する社会連携業務の支援体制強化に向けた静岡大学事務組織規程の一部改正について

前田委員から、教育に関する社会連携業務の支援体制強化に向けた静岡大学事務組織規程の一部改正について、資料10により提案があり、審議の結果、承認した。

なお、加藤委員から、改正案の第16条第7号「放射線障害の防止・・・」の文言について確認があり、前田委員から、平成29年3月8日に開催される役員会までに加藤委員と調整し、一部修正もあり得ることとしたい旨の発言があった。

また、菅野委員から、社会連携の事務を教育と研究で学務部と学術情報部の2部に分けることについて懸念が示され、議長から、業務内容によってはきれいに分けられないものも出てくると思うので、両部でうまく連携を取って進めるようをお願いしたい旨の発言があった。

11 平成29年度の年度計画策定について

東郷委員から、平成29年度の年度計画策定について、資料11により提示があり、持ち帰り審議とし、次回本会議で審議・承認し、平成29年3月24日に開催される経営協議会及び役員会へ諮り、平成29年3月31日までに文部科学省へ提出することとした。

なお、同委員から、平成29年3月3日までに意見の提出依頼があった。

石井委員から、事前に提出があった塩尻委員からの質問に対する以下の説明があった。

- ・計画No.2及びNo.3の平成30年度の年度計画（素案）に記載がある「平成32年度を目途とする学士課程再編」とはどのような再編を想定しているのかの質問について、平成28年度学士課程改革の議論の中で第3期中期目標期間中に

教育学部教員養成課程を見直すことによって学生定員を全学としてどうするのか議論しなければならない。

・計画No.2の措置事項に記載がある「クォーター制等の柔軟な学年歴の検討・導入」について、平成29年度及び平成30年度の年度計画（素案）に記載がないことの質問について、学年歴についてはまだ具体的に記載できる状況でない。また、議長から、留学しても留年しなくて済む仕組みを検討する必要がある旨、発言があった。

鈴木委員から、学年歴については計画No.46の年度計画（素案）と関係するので調整したい旨、発言があった。

12 日本マイクロソフト株式会社との大学教育におけるデジタルトランスフォーメーション推進に関する覚書の締結について

東郷委員から、日本マイクロソフト株式会社との大学教育におけるデジタルトランスフォーメーション推進に関する覚書の締結について、資料12により提案があり、一部修正の上、承認した。

寺村委員から、文部科学省は反転授業を推奨しているのか質問があり、東郷委員から、文部科学省の評価委員会のヒアリングでは興味を示していた旨、議長から、文部科学省はアクティブラーニングを推奨している旨、説明があった。

寺村委員から、反転授業を強制しないように依頼があり、東郷委員から、強制はしない、授業を繰り返し視聴できるメリットがある、受講者だけしか視聴できない旨、説明があった。

議長から、第1条に記載がある「反転教育」の表記に違和感がある旨発言があり、審議の結果、「反転授業」とすることとした。

鈴木監事から、繰り返し授業を視聴でき学生支援になり、学生減の対策のアピールになると思われるので積極的に活用するように依頼があった。

13 ガジャマダ大学（インドネシア共和国）とのダブルディグリー特別プログラム覚書の締結について

鈴木委員から、大学間交流協定による交流実績に基づき新たに創造科学技術大学院とガジャマダ大学（インドネシア共和国）とのダブルディグリー特別プログラム覚書の締結について、資料13により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

14 インド工科大学ハイデラバード校（インド）との大学間交流協定の締結について

鈴木委員から、インド工科大学ハイデラバード校（インド）との大学間交流協定の締結について、資料14により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

15 国立大学法人静岡大学公用車運行管理規則の制定について

前田委員から、国立大学法人静岡大学が所有する公用車の使用及び管理を規定するため国立大学法人静岡大学公用車運行管理規則の制定について、資料15により提案があり、審議した。

次の意見等があったので、各部局の意見を聴いた上で、事務協議会でも審議し、次回本会議で改めて審議することとした。

（主な意見等）

第2条関係

・第2号の「役員等」の定義が規定されていないが、「役員等」に教職員は含まれ

るのか。

- ・学生を送迎することがあるが学生は第2号の「役員等」に含まれるのか。

第5条関係

- ・別表の運行管理者で農学部附属地域フィールド科学教育センター長が指名されているが、センター長は常駐していないので他の部局と同様に職員を指名できないか。

第6条関係

- ・農学部では3日以上にわたる使用が通常なので、ただし書きにより3日以上使用することでよいか。
- ・道路交通法第2条第1項第1号に規定する道路とあるが、一般の道路ではないフィールドでの走行も想定されるがどうなるのか。
- ・フェリーを使用する場合があるが本規則ではフェリーを使用できなくなってしまうのでどうすればよいか。
- ・1日の走行距離が概ね250kmと規定され、現実的ではないと思うが、何を根拠にしているのか。→他大学を参考にしている。

第7条関係

- ・特任教員が使用する場合があるが保険等の適用になるのか。→適用になる。第2条第4号に教職員の定義が規定されていて、特任教員は教職員に含まれる。

Ⅲ 報告事項

1 平成28年度第11回企画戦略会議(平成29年2月1日)報告

議長から、平成28年度第11回企画戦略会議(平成29年2月1日)について、資料16により報告があった。

2 次期学部長等候補者の決定について

議長から、平成29年4月1日付で発令予定の学部長、地域創造学環長、研究科長、創造科学技術大学院長、附属図書館長及び附属図書館浜松分館長の候補者について、報告があり、平成29年2月16日(木)に報道発表する旨、説明があった。

3 教員採用等報告について

議長から、教員採用等報告について、資料17により報告があった。

4 平成29年度入学者選抜状況について

石井委員から、平成29年度入学者選抜状況について、資料18により報告があった。

5 平成28年度卒業・修了予定者の進路状況(12月末現在)について

丹沢委員から、平成28年度卒業・修了予定者の進路状況(12月末現在)について、資料19により報告があった。

6 静大就職祭2018について

丹沢委員から、平成29年3月14日(火)～15日(水)に開催する静大就職祭2018について、資料20により説明があった。

7 ウクライナ国立技術大学(ウクライナ)との大学間交流協定の締結について

鈴木委員から、ウクライナ国立技術大学(ウクライナ)との大学間交流協定の締結について、資料21により報告があった。

8 浜松キャンパス事務部の設置に伴う事務組織規程の一部改正について

前田委員から、浜松キャンパス事務部の設置に伴う事務組織規程の一部改正について、資料22により説明があった。

9 新制中規模国立大学連携コンソーシアムについて

前田委員から、平成29年3月15日（水）に調印し、記者発表を予定している新制中規模国立大学連携コンソーシアムについて、資料23により説明があった。

10 就業規則の一部改正等について

前田委員から、就業規則の一部改正及び教職員の勤勉手当の改定について、資料24により説明があった。

11 一般社団法人国立大学法人協会東海・北陸地区支部会議について

前田委員から、平成29年2月3日（水）に開催された一般社団法人国立大学法人協会東海・北陸地区支部会議について、資料25により説明があった。

12 学長選考会議における審議状況について

塩尻委員から、学長選考会議における審議状況について、報告があった。

以上